2019 年 6 月 20 日
JVOAD

山形県沖を震源とする地震に係る被害状況等について

本日 20：00 時点で把握した現地情報ならびに関係団体の対応についてご報告します。

○現地の状況

山形県チームと新潟県チームに分かれて、それぞれ地元行政、社会福祉協議会、NPO 等と情報を共有しながら、昨日に引き続き、現地の状況確認を行いました。

・山形県の沿岸部で昨日に加えて 30～50 軒程度の一部損壊（屋根瓦の落下等）や私有地の被害もみられたが、全体的には数 100 軒程度との推測。
・山形県の避難所は本日夕方時点ですべて閉鎖。新潟県の避難所については、日中はほぼゼロだった。
・鶴岡市では、被災家屋への応急危険度判定も始まっている。
・鶴岡市では、罹災証明書の窓口とあわせて、健康相談、メンタル相談、法律相談の窓口を置くことが検討されている。

【JVOAD 先遣チーム（災害 NGO 結）撮影：鶴岡市由良地区】

○災害ボランティアセンター

山形県、新潟県ともに災害ボランティアセンターの設置はなく、ボランティアの受付は行われていない
・相談窓口の設置や戸別訪問等を行う予定があり、そこで出たニーズに対しては地元中心で対応予定

○懸念事項

・現在使用されているブルーシートが薄いので、もう少し厚手のものがある方がいい。
・業者によってブルーシート対応がされているが、今後ブルーシートや土嚢袋が劣化することから、メンテナンス（張り替え）が必要になってくる。
・災害救助法が適応されていないので、家屋のメンテナンス等で生活困窮等の被災者が今後自宅を復旧できないケースがでてくる懸念がある。

○今後について

懸念事項について、地元行政、社会福祉協議会、NPO 等と協議を持つ予定をしています。
今週末をめどに先遣チームは引き上げる予定をしていますが、今後は、現地の状況に応じてサポートしていきます。